競技注意事項（案）

1. 規則について

本競技会は 2017 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

(1) 1 次招集は雨天走路内の競技者係にて、競技者本人が〇を付けて行う。その際、**ナンバーカードをつけたユニフォームを掲示し、スパイクピンの長さの確認受けること**。また、**腰ナンバーカードの確認を行う。**

(2) 1 次招集時刻は以下の通りである。

種　　目	開　始　時　刻	完　了　時　刻
トラック・リレー種目	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド種目	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前
棒高跳	競技開始 90 分前	競技開始 80 分前

(3) 2 次招集は現地にて行う。トラック種目は競技開始 10 分前、フィールド種目は 30 分前とする。

(4) リレー種目のオーダー用紙は、**1 次招集完了の 1 時間前まで**に競技者係まで提出すること。**リレーの招集は、4 人とも受けること**。また、**ユニフォームを統一すること。**

(5) 同一時間に 2 種目以上出場する競技者は、招集時間内に重複出場届（雨天走路内の競技者係にて配布）を雨天走路内の競技者係に提出すること。尚、出場種目の重複により 1 次招集に来られない場合は**代理人が 1 次招集を受けなければならない**。

(6) 欠場は原則として認めない。やむを得ず**欠場する場合は欠場者届を総務及び競技者係に提出**すること。

(7) 欠場者届・リレーオーダー用紙・重複出場届は競技者係及び受付にて配布する。

3. 当日エントリーについて

(1) 当日エントリー希望者は出場希望の種目が行われる**当日の午前 7 時 30 分から招集開始時刻の 1 時間 30 分前までに**、競技場内、雨天走路内の競技者係に申し出ること。ただし**午前 7 時 30 分から午前 8 時 30 分までは競技場 1 階の正面玄関前にて行う**。なお**午前 10 時 30 分までに開始する種目については 8 時 00 分に受付を締め切る**ので注意すること。（当日エントリー一覧表参照）

(2) 当日参加者も 1 次招集を必ず受けること。

(3) 競技運営上の都合により、当日エントリーを設けない種目があるので注意すること。

(4) **競技運営上の都合により、当日エントリーの人数を制限することがある**ので注意すること。また、受付終了時間になる前に制限人数に達してしまった種目は受付を終了する。

(5) 100m など同種目で開始時刻が異なる種目は、最初の組の開始時刻に合わせてエントリーすること。

(6) **代理人による申し込みは可能だが、1 度の申し込みにつき 1 名のみとする。**

4. ナンバーカードについて

(1) 平成 29 年度関西学生陸上競技連盟登録者は**平成 29 年度連盟登録**のナンバーカード
高体連登録者は高体連登録のナンバーカード
陸協登録者は陸協登録のナンバーカード
を胸部、背部の前後 2 箇所付けること。（但し跳躍種目についてはどちらかでよい）

(2) トラック種目については、競技者係で配布する腰ナンバーカードを右腰部に明瞭に付けること。尚、このナンバーカードはゴール後直ちに回収する。途中棄権の場合は速やかに競技者係に返却すること。

(3) 5000m、10000m については別ナンバーカードを主催者で準備する。

5. トラック種目について
   (1) トラック種目は次のラウンドを行わない。
   (2) 全天候舗装のため 9mm 以下のスパイクピンを使用すること。
   (3) トラック種目は電気計時（1/100 秒）にて行う。但し、機器の故障などトラブルが生じた場合、手動計時（1/10 秒）に切り替える場合がある。
6. 不正スタートについて
   (1) 不正スタートと判定された競技者は失格となる。
   (2) スタートの号令は英語で行う。
   (3) 不正スタートの判定は目視にて行う。
   (4) 不正スタートの判定の参考資料として、ビデオ撮影を行う場合がある。
   (5) **不正スタートは一回で失格とする。**
7. フィールド種目について
   (1) フィールド種目の試技は 3 回とする。
   (2) 全天候舗装のため 9mm 以下のスパイクピンを使用すること。但し、走高跳・やり投については 12mm 以下とする。
   (3) 投擲種目は光波計測とする。練習投擲は投擲審判主任の指示に従うこと。
   (4) フィールド種目において 2 回目以降を棄権する時は審判員にその旨を申し出ること。
   (5) 男子の砲丸投・円盤投・ハンマー投に関しては大学生・一般者の試技を先に行い、高校生をその後とする。
   (6) 持参したやりを競技で使用する場合は、**競技開始の 90 分前から 60 分前に 100m スタート側用器具庫横にて行う検定に合格したもの**に限り使用を認める。
   (7) 棒高跳出場者のポール輸送については、各自で手配を行う事。業者に依頼する者は、競技場へ ３ 月 １２日（月） １４時に到着するように日時指定をした上で、手配を行うこと。返送については、各自責任を持って大会期間中に行うこと。
   (8) 三段跳の踏切板の位置に関しては、男子はＡピット１３m 板・Ｂピット１１m板、女子はＢピット１０m板・Ｃピット９m板とする。
   (9) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。尚、ここに記載されている高さより低い高さでの試技は、原則として行わない。

	種目	ピット	試技開始	
男子	走高跳	Ａピット	１m８５	以後５ｃm刻み ２m００以降３ｃm
		Ｂピット	１m５０	
	棒高跳	Ａピット	２m８０	以後２０ｃm刻み ４m６０以降１０ｃm刻み
女子	走高跳	Ａピット	１m５０	以後５ｃm刻み １m６０ｃm以降３ｃm刻み
		Ｂピット	１m３０	
	棒高跳	Ａピット	２m６０	以後２０ｃm ３m４０以降１０ｃm刻み

8. 競技場使用について
   (1) 開門時間は両日とも 8 時 30 分、閉門時間は両日競技終了 30 分後とする。
   (2) 両日ともに全競技終了後、主催者の指示に従い速やかに競技場から退出すること。
   (3) 使用器具は原則として、競技場備え付けのものを使用すること。
   (4) グラウンド以外はスパイクで立ち入らないこと。
   (5) 芝生内はすべて立ち入り禁止とする。
   (6) **トラック及びフィールド内での携帯電話・音楽再生機器・無線機などの持ち込み・使用を禁止する。**

(7) 雨天走路は召集場所として使用するため、シート等を使っての場所取りはしないこと。また飲食禁止とする。

(8) 集団応援はバックスタンドとサイドスタンドのみ認める。大会期間中、大会運営に支障をきたす応援が行われている場合には、応援を制限することがある。また、集団応援を行う際には、競技進行の妨げとならないよう十分に注意すること。場合によっては競技運営上の都合により、集団応援禁止区域を設けることがある。その際には速やかに対応すること。

(9) 横断幕及びのぼりはバックスタンドとサイドスタンドのみ認める。固定にはテープ等を使用せず、紐などを使って固定すること。また、競技終了後にすみやかに外すこと。

(10) 器具の破損・紛失については、その選手及び補助員の所属団体、学校より必要代金を徴収する場合がある。

(11) 競技場のトラック・フィールド内には、審判員・選手・補助員以外の立ち入りを禁止する。

(12) 競技終了後、選手は指示に従って速やかに退場すること。またその際、大会本部前の通行は禁止とする。

(13) フィールド種目、リレー種目でマーキングに使用するテーピング等は、使用後必ず撤去し持ち帰ること。

(14) ごみは各団体で持ち帰ること。

9. その他

(1) 関西学生陸上競技連盟加盟校は割り当てられた学生審判・補助員の派遣をしなければならない。

(2) 参加者の競技中の障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。ただし、2017 年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適応される場合がある。

(3) 荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。

(4) 陸上競技者としてのマナーを著しく逸脱した行為が見られる場合、その選手の所属団体、学校の以後の競技を中止させる。

(5) 当日エントリーの人数によっては競技日程の調整を行う場合がある。

(6) 車での来場はできるだけ控え、公共の交通機関を利用し来場すること。

(7) その他、不明な点は主催者まで問い合わせること。

関西学生陸上競技連盟